

福島民友 平成20年12月24日

東京農大生が景観保全活動



地区住民と協力して間伐作業に汗を流す学生ら

里山の環境整備に汗

鮫川 赤松林間伐、もちつきも

東京農大の学生による鮫川村里山景観保全活動（農大カレッジ講座）は二十、二十一の両日、村内で展開した。学生や首都圏在住者ら三

十八人が参加。里山景観保全や赤松林間伐のほか、全員でもちつきを楽しみながら豊かな里山を満喫しながら、地域住民らと交流した。もちつきでは、これまでの活動で育ててきたもち米を使って収穫祭を実施した。赤松林間伐は地区住民との協働作業で行われた。



学生らが育ててきた米を使ったもちつき交流

十八人が参加。里山景観保全や赤松林間伐のほか、全員でもちつきを楽しみながら豊かな里山を満喫しながら、地域住民らと交流した。もちつきでは、これまでの活動で育ててきたもち米を使って収穫祭を実施した。赤松林間伐は地区住民との協働作業で行われた。